

平成24年度

第1回大滝区地域協議会

日時：平成24年6月1日（金）
午後3時30分～午後4時20分
会場：大滝総合支所2階大会議室

○ 出席者

・ 地域協議会委員

1号委員： 佐々木 剛 今井 良 元谷 隆 桂川義治
2号委員： 中川 学 梅津和弘 佐藤富貴子 石野良一
3号委員： 小室哲子 阿戸孝之 近藤春夫 ……以上11名
欠席者： 岩花幸子

- ・ 市 菊谷市長、武川支所長 岩淵課長 石澤課長 進藤主査
- ・ 記者 室蘭民報社
- ・ 傍聴者 なし

1. 開 会

地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。

改選後初めての協議会となるため委員と事務局から自己紹介。

2. 菊谷市長あいさつ（要旨）

合併をして6年が経ちましたが、皆さまに少しでも満足いただけるような取り組みをしたいと思っております。

合併前の大滝では福祉を中心にまちづくりをしてきましたが、現在の状況は、リハビリセンターが一部移ったように、さまざまな課題があり、趣も変わってきました。

これからの事業として成り立つものは何かと考えた時に、観光と林業があると思います。ひとつの方向としては、林業の振興は欠かせないと思っています。また、観光振興では、ノルディックウォーキング、スキーマラソンなど、大滝の特徴を生かした観光や、夏の合宿でサッカー場の整備等についての要望もありますことから、観光と林業を中心としてまちづくりを進めていきたい。

また、公共料金のほとんどを据え置いています、現状のところ順調に推移しておりますので、皆さんの期待に応えるよう、大滝のために今後とも努力していきたい。

3. 会長・副会長選出

市長が仮議長となり会長・副会長の選任を行う。

選任方法については、指名推薦の方法で選出との意見があり、会長には「桂川義治氏」、副会長には「石野良一氏」を推薦する意見がこのとおりのことから決定する。

4. 大滝区地域協議会について

審議に先立ち、会議録署名人に佐々木委員、今井委員を指名

地域自治区制度の概要について「地域自治区の設置に関する協議書」により岩渕課長から説明する。

(意見・質疑等)

佐藤委員 : 今日は23年度の事業報告ですが、24年度のこれからのことはないのか。

岩渕課長 : 24年度の予算は、昨年11月に次の年度の予算を審議していただいております。今回は1回目ですので、昨年度の実績になります。

武川支所長 : 24年度の第1回地域協議会につきましては、23年度の決算の執行状況をご報告いたしております。24年度の予算につきましては、昨年度の第2回の協議会の中で審議していただいて、事業を取り決めております。基金の状況につきましては、本日追加配布している「大滝区振興基金の状況」をご覧ください。

5. 議 題

(1) 平成23年度 大滝区振興基金対象事業報告について

議案資料により岩渕課長が説明を行う。

平成23年度大滝区振興基金対象の11事業について実績を報告する。

(意見・質疑等)

石野委員 : 今年度、カナダ・レイクカウチン町への派遣事業がありますが、いつ頃から何人ぐらい行く予定ですか。

岩渕課長 : 最終的な行程はまだ決まっていますが、10月上旬から8日間です。人数は、中学生が15名、引率教員が4名、行政が4名の23名を予定しています。

中川委員 : 先日の大雨の災害対策を基金から考えているのか。

武川支所長 : 市道を含めて災害がありましたが、基金からというよりは行政経費の中ですべて対応することで考えております。

桂川会長 : ほかに意見がないようですので、平成23年度大滝区振興基金対象事業報告を終わります。

6. その他

岩渕課長 : 本日追加資料として配布しました「平成23年度第2回地域協議会における

質疑」については、配布したとおりですのでご覧ください。

桂川会長 : 委員の皆さんのほうから何かありませんか。

石野委員 : 国道453の関係ですが、北湯沢から蟠溪までの道路はかなり進捗されていますが、雨が降るごとに通行止めの心配もありますので、早期に整備ができないのだろうか。

菊谷市長 : 先日、陳情に行ってきたところですが。北湯沢から蟠溪までは平成27年までに完成させるということです。蟠溪の市街地から久保内については、当初平成28年の話だったが、これについては難しいということでした。

小室委員 : 昨年、平成の道の遊歩道に咲いている桜がテングス病か何かで、市のほうで処理をしてもらったのですが、今後の遊歩道の活用と管理体制をも一度見直してもらいたい。

武川支所長 : 指摘の桜を樹木医の先生に診ていただきました。先ほどテングス病というお話がありましたが、山桜に発生する病気で、同じ種類の桜を植えたがゆえに、また一つの病気で一斉に広がってしまったということを伺っていました。

これから、桜をどういう形で今後植樹ができるかわかりませんが、その時には、山桜一辺倒ではなくて、種類や色合いを変えるなど、検討しながら対応していきたい。

また、平成の道の活用については、子供たちを中心に徒歩だけではなく自転車でも活用されている状況ですので、それらを含め私たちも勉強をしながら活用策をみいだしていきたいと思います。

近藤委員 : 優徳町にある共同浴場の入り口のドアが重くて開けづらいので、何とかしてほしい

武川支所長 : 早急に確認します。

近藤委員 : あと、風呂の前に信号をつけてほしい。

菊谷市長 : 信号機の場合は警察の公安委員会が権限を持っていて、市では勝手に決められません。距離の問題とかありますので相談してお答えします。

武川支所長 : これにつきましては、協議させていただきます。

石野委員 : これは、優徳自治会で意見をまとめないと、個人で話しても無理な話だと思う。

阿戸委員 : 優徳の中でいうと、小学校入口のお寺の前に信号機をつけてほしいという要望がでていて、もうすでに2か所設置されているので、自治会としては要望を出せない状況になっている。

菊谷市長 : 自治会と調整させていただきます。

○閉会